



リテラシー・ 対話・意思決定

滋賀大学教育学部 准教授／
一般社団法人 社会対話技術研究所

加納 圭

対話



現状、背景、重要性

【リテラシーの問題】

市民に対して「最低限の」知識を求める傾向

【対話の重要性】

市民と研究者とがアイデアや前提を共有し、互いに学び合う過程（対話）が重要

【意志決定の重要性】

3.11以降、政策形成過程への市民参画が重要



特徴的な課題

95. 市民の環境問題に関する情報の活用力を向上し、行動を変えるためには、どのような環境学習が必要か？

105. 女性やマイノリティ、声を上げない多数派であるサイレントマジョリティや将来世代といった、多様な立場からの意見を取り入れながら、環境政策の意思決定を行うにはどうすればよいか？